

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年9月3日
事業名	名誉町民・褒章・表彰事業	担当課・係名	政策課政策係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	16
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成13年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	町の進展に対し多大な功績を残された方、広く模範となるような行為をされた方への表彰				
対象 (誰を・何を)	町民及び町に関係のある個人若しくは団体				
内容	町条例に基づき、表彰者を選考するため外部委員も含めた表彰審査委員会を開催するとともに、被表彰者に対して表彰状、記念品の贈呈を行う。表彰審査委員会委員へは報酬の支払いを行っている。国における叙勲、褒章対象者の選考にあたり町からの候補者推薦や感謝状の贈呈事務なども本事業の中で実施している。				
根拠法令・条例等	大磯町名誉町民条例、大磯町表彰条例				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	273	350	352
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	273	350	352
	職員人数 (概算職員数)	人			0.24
	人件費計 (b)	千円			1,471
総事業費 (a)+(b)	千円	273	350	1,823	
事業費内訳 H 25 年度	表彰審査会委員報酬52千円+消耗品費(記念品等)300千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 町民 (4月1日現在)	人	32,791	32,587	32,625
	②				
活動指標 (活動量)	① 審査委員会開催回数	回	2	2	2
	② 延べ委員者数	人	13	12	10
成果指標 (達成度等)	① 報酬延べ支払者数	人	7	8	8
	② 被表彰者数	人	5	4	未定

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	表彰審査委員会の設置は法的根拠があり妥当。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	表彰審査委員会での決定は条例に基づく規則で定められている。様々な分野を専門にしている方を委員として委嘱しており、偏った意見とならないよう配慮していることから妥当。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	町民の模範となる被表彰者の功績を称えるとともに、年始の賀詞交換会の席上で町条例表彰者への表彰を実施することにより町民への周知等も図られている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他
	理由	コストは委員報酬と記念品代程度と少額で抑えられているが、被表彰者の選考にあたり表彰審査委員会の回数を1回とするなど効率化を図ることが可能と考える。
	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	25年度は表彰審査委員会の回数見直しによるコスト削減を図る予定である。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 選考基準の透明性を高める必要がある。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
被表彰者の選考については、「大磯町表彰条例施行規則」の選考基準及び「大磯町表彰条例被表彰者選考内規」により行っているが、より選考基準を明確にさせるための見直しを行うとともに、内規については基準や要綱等として整備する。
② 平成26年度に着手する事項
選考基準の明確化を図るために「内規」については基準や要綱等としての整備を図る。
③ その他（課題、調整事項等）
なし

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

選考基準の明確化を図る（11月頃開催予定の平成26年度候補者選考時まで、現在使用している選定基準の見直しを図り、要綱等として整備していく。）
--